

～保護者の皆さまと
学科をつなぐ
ほっとライン～

しまなみだより

第2号 2014年4月発行

～新学期が始まりました～

春暖快適の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より本学の教育にご理解とご協力を頂きありがとうございます。
看護学科では3月18日に平成25年度卒業生64名を無事に送り出し、
4月3日に平成26年度新1年生を迎えました。現在、在學生は新学年と
なり、新たな気持ちで講義・演習をうけています。
今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。 看護学科広報係



毎年、見事に咲く三原キャンパスの桜の写真です！！

本紙のマスコットキャラクターが決定！！

本紙のマスコットキャラクターを看護学科で募集したところ
10点の応募があり、1年生金田来美さんの作品『ナースだるま
しまなみちゃん』が優秀賞に選ばれました！

今後4年間、しまなみちゃんには紙面を楽しく紹介してもらい
ます。佳作には2年生藤岡哉江さん、3年生森本さきさん、4年生
堀端桃華さんの作品が選ばれました。参加賞には、1年生石岡奈津
さん、3年生堀田総一郎さんの作品が選ばれました。

1月21日に表彰式が行われ、笠置学科長から優秀賞など表彰さ
れ、賞状と記念品が渡されました。下記に佳作となった3作品を
紹介します。どの作品も癒しを与える看護職、楽しく学ぶ姿勢を表
す、県立広島大学の看護の特徴がでています。学生たちはとても感
性豊かだと感じました。
(土路生明美)

みなさん☆はじめまして☆
ナースだるま しまなみです。
三原の名物だるまのように、
何度転んでも起き上がる
タフな看護職を目指しています♪



笠置学科長から優秀賞が金田さんに授与されました。

学年ごとの学生生活の紹介

1年生



9月に初めての病院実習を終え、少し成長したようでもある1年生。後期は授業の合間に大学祭の準備など大変張り切ったようですが、初めての大学祭に気合十分、楽しく行えたようでした。講義では初めて聞く看護理論という言葉に戸惑い、演習では清拭や洗髪など直接患者さんの体に触れる技術が増え、益々専門的になり、「難しい」「わからない」と苦戦しながらも、調べたり、相談したり、と自分たちなりの勉強方法を見つけ課題に励んでいました。前期ではまだ高校生のあどけなさも見られた1年生でしたが、後期では看護を学ぶ大学生となっていていてる姿を垣間見ることもできました。(井上セツ子)

初めての大学祭で豚汁をつくりました！

2年生

2月から3月中旬にかけて2週間、基礎看護実習Ⅱを行いました。学生さんの臨地実習は1年生の夏に行った実習以来で、今回初めて受け持ち患者さんの看護計画を立案し、ケアを実施しました。事前に学生さん同士で洗髪や、清拭などを練習していますが、患者さんへのケアを行う時には緊張した様子で、戸惑っていました。しかし病院スタッフからの助言や患者さんご自身からの励ましで皆実習をやり遂げていました。ある学生さんは足浴をした後に患者さんから「ほんますっきりして気持ちよかった。ありがとう。」とお礼の言葉をいただいていた。患者さんから感謝されて嬉しそうな様子をみせる学生さんが印象的でした。

(永井庸央)



2年次診療に伴う看護方法論の演習の風景です。みんな真剣に見て学んでいました。



12月クリスマス限定のイルミネーション。噴水や階段とのコラボレーションがとてもきれいでした。

3年生



成人看護実習Ⅰを終え、永井庸央教員と3年生と一緒に撮った写真です。



11月三原キャンパス浮城祭3年生たちの見事なダンスパフォーマンス！

3年後期には専門科目の実習が始まり、看護学生にとって大変ですが、充実した時期を迎えます。

私の担当している老年看護実習では、健康障害のある高齢の方を受け持ち、身体の観察や日常生活の援助を行います。はじめは、座学で得た様々な知識を統合し、援助を実践することの難しさに直面し、戸惑う姿も見られます。ですが、受け持ちの方に対する理解が進むと、必要な援助を実践できるようになっていきます。患者さんから「楽になった、ありがとう」などの言葉を頂くと、嬉しそうに伝えてくれます。そして3週間の実習を終える頃には、「一番近くに居る存在として、患者さんの権利を守りたい」「よい人生だったと思ってもらえるケアをしたい」などの言葉が聞かれるようになってきます。3年後期の実習を終えた学生の姿に、看護職としての自覚を感じ、頼もしく思います。(渡辺陽子)

4年生



12月19日卒業研究発表会を終えたばかりの4年生と教員が集まりました。

4年生が1年かけて取り組む卒業研究には、テーマを決め研究計画書を書きデータの分析結果に基づいて自分の考えを展開するというハードルの高い課題があります。学生は研究初心者でもあり、3～4名を教員1名がサポートするきめ細やかな指導を受けます。学生達は臨地実習が終了した8月頃からアンケートやインタビューなどのデータ収集に入り、地域の医療機関などへ緊張した面持ちで出かけて行きます。実験研究では計器を用いた測定などを行うため、学内では学生同士で被験者になる姿もよく見られます。9～10月でデータ分析を終え11月には論文骨子が出来上がり、12月初旬は抄録提出・パワーポイント作成と発表会に向けて一気に慌しくなっていく時期です。発表会での学生たちは3年生の頃と比べても一段と落ち着き大人びて見違えるようです。研究成果は力作「卒業論文」として年明けに提出して一山超え、2月の国家試験に心置きなく向かう態勢を整えるのです。

(宮本奈美子)

教員の紹介 学科の名物教員をご紹介します!



黒田寿美恵講師

成人看護学の講義・演習・実習と卒業研究を担当しています。2000年の広島県立保健福祉大学開学時に赴任し、ずいぶん古株になりました。学生さんに看護の楽しさを感じてほしい、考える力を高めてほしい、と思いながら日々関わっています。実習指導の中で学生さんの成長を肌で感じる瞬間は何よりも嬉しく、そのたびに教員やっていてよかったな～と思っています。

趣味はフィギュアスケート観戦です。お気に入りの演技は何十回もリピートして観ています。フィギュアスケートについて語りたい人、看護について語りたい人、そうでない人も、ぜひ研究室に遊びに来てくださいね。

～サークル紹介～ 『バレーボール部』



三原キャンパスのバレーボール部です。初心者から経験者まで学科や学年の枠を超えてメンバー同士が楽しく参加できるよう心がけているそうです。毎週火曜日・木曜日の夕方以降に集まり汗を流しています。時には食事会を企画してつながりや絆を深めているそうで、メンバーの笑顔から充実した学生生活がうかがえました。

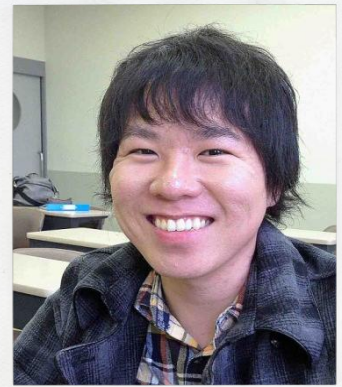
(石原克秀)



練習後にみんなで集まって撮りました!

学生さん いらっしゃ〜い!

今回、僕は3週間、手術を行う患者様を対象とした成人看護実習Ⅰを行いました。肝臓を切除する患者様を担当させていただき、特に術後の回復過程を看護するときには患者様が示すデータ、症状、言動などをつなげて総合的にアセスメントする大切さを学びました。そしてその患者様に沿った看護を提供していくために、患者様がどのような人柄なのか把握したうえでかかわることも重要であることを学びました。また、今回の実習では男性看護師スタッフからも熱心に指導していただきました。患者様への優しい対応、深いアセスメントに圧倒され、僕もあのような看護師になりたいと憧れました。これからも一層頑張ろうと思えた実習となりました。



3年 大塚俊さん

1月に成人看護実習Ⅰを終えた日の写真です。笑顔に満足感や安堵感が現れていますね。



珍しく雪が積もった三原キャンパスの写真です。

〜卒業生 頑張っています!〜



平成19年度卒業生
萩野芳美さん
三原市保健福祉課保健師

保健師になり6年が経ちました。就職して思うこと、やっぱり大学時代は楽しかったということです。在学中は、授業や実習も多く大変でしたが、サークル活動や友人との付き合いなど、楽しいこともたくさんありました。大学時代は、さまざまな人と出会い関わる中で大切なことをたくさん学ぶことができたと思います。もちろん、大学時代の友人とは今でも仲良しです。大学時代は、一生懸命勉強し、たくさん遊んで、思い出をたくさん作ってほしいと思います。

保健師は、「ゆりかごから墓場まで」と言われるとおり、赤ちゃんからお年寄りまでたくさんの人と関わることができる仕事です。私も就職して6年、まだまだ保健師としては半人前ですが、先輩や同僚と支え合いながら、頑張っていこうと思います。

看護学科「学生生活通信」について ご意見、ご感想などお寄せ下さい。
〒723-0053 広島県三原市学園町1-1 TEL 0848-60-1120(代表)
FAX:0848-60-1134(代表) E-mail : nskouhou@pu-hiroshima.ac.jp
発行: 県立広島大学保健福祉学部看護学科 広報係



三原キャンパスから見えるしまなみの風景です。